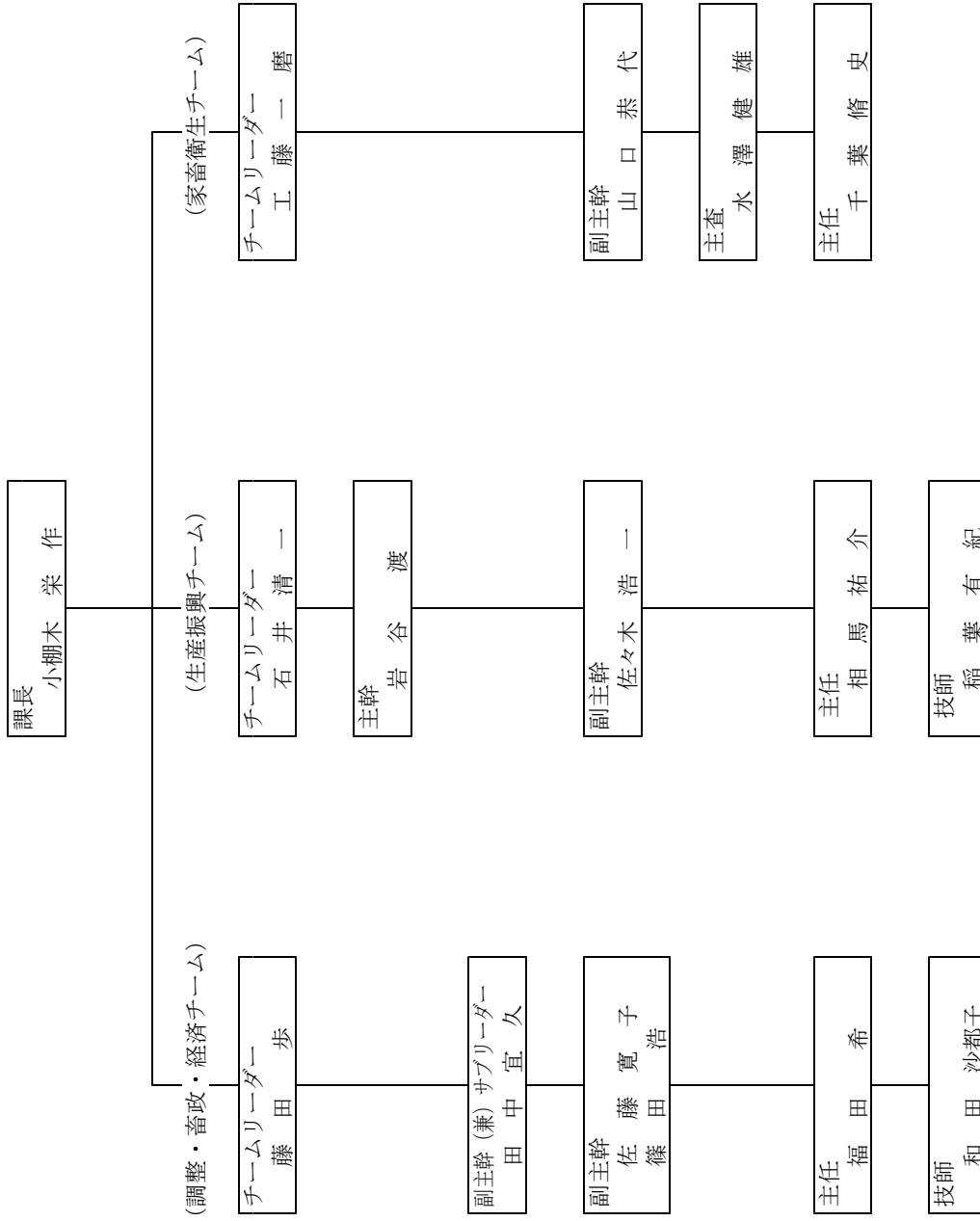


畜產振興課

畜産振興課

(令和5年4月1日現在)



各チームの主な所掌事務

(調整・畜政・経済チーム)

- ・秋田牛ブランドの確立
- ・比内地鶏の振興及び認証制度
- ・畜産クラスター事業
- ・畜産物の輸出促進
- ・畜産経営安定対策
- ・畜産関係制度資金

(生産振興チーム)

- ・肉用牛・酪農の生産振興
- ・大規模肉用牛団地の支援
- ・家畜の改良・増殖、種雄牛造成
- ・畜産公共事業
- ・耕畜連携の推進
- ・飼料作物の増産
- ・養蜂振興

(家畜衛生チーム)

- ・家畜衛生・家畜伝染病予防
- ・獣医事・薬事
- ・獣医師職員確保対策
- ・家畜排せつ物対策

事業名	畜産環境総合整備事業【農山漁村地域整備交付金】			担 当	生産振興チーム	
事業年度	平成22～	事業主体	県	当初予算額	54,498 千円	
事業目的	総合的な畜産経営の環境整備を行い、家畜排せつ物のリサイクルシステムを構築することにより、畜産に起因する環境汚染の防止と畜産経営の合理化を促進するとともに、良質な堆肥を耕種農家等へ還元し、地域農業の持続的な発展を図る。			財 源	国 庫	50,236 千円
					一 般	4,262 千円
実施内容	<p>1 畜産環境総合整備事業 54,498千円 (◎50,236千円、○4,262千円)</p> <p>将来にわたり畜産主要産地として発展が期待される地域において、総合的な畜産経営の環境整備を行い、家畜排せつ物のリサイクルシステムを構築することにより畜産に起因する環境汚染の防止と畜産経営の合理化を促進し、併せて、家畜排せつ物のリサイクルにより生産された良質な堆肥を耕種農家へ還元し、地域農業の持続的な発展を図る。</p> <p>(1) 実施地区 美郷3期地区(美郷町)、由利本荘2期地区(由利本荘市)</p> <p>(2) 実施期間 美郷3期地区：令和4～7年度、由利本荘2期地区：令和5～9年度</p> <p>(3) 事業内容</p> <p>①美郷3期地区(ストックマネジメント)</p> <p>ア 浄化処理施設(補修工事)、堆肥処理施設(実施設計)</p> <p>イ 事業主体事務費((公社)秋田県農業公社)</p> <p>ウ 県事務費</p> <p>②由利本荘2期地区(ストックマネジメント)</p> <p>ア 浄化処理施設(修繕工事、実施設計)、堆肥処理施設(修繕工事)</p> <p>イ 事業主体事務費((公社)秋田県農業公社)</p> <p>ウ 県事務費</p> <p>(4) 補助率 事業費 国50%以内、事務費 県10/10以内</p>					

事業名	畜産制度資金融通助成事業		担 当	調整・畜政・経済チーム	
事業年度	昭和63～	事業主体	融資機関（農協）等	当初予算額	
事業目的	畜産農家に制度資金を融通した融資機関に対して、利子補給金を交付し農家負担を軽減することにより畜産農家の経営の安定を図るとともに、保証の円滑化を促進するため、代位弁済する保証機関に対し、助成を行う。			財 一 般	166 千円
				財 源	
				内 訳	
実施内容	1 畜産経営改善支援資金特別融通助成事業			2 千円（◎2千円）	
	（1）畜産経営改善支援資金				
	①対象となる貸付 平成14～15年度分（利子補給期限：令和5年度）				
	②貸付条件 償還期間15～25年（うち据置期間3～5年）、利子補給率0.12%				
③利子補給見込額 1,918円（県 → 融資機関）					
④利子補給対象金融機関数 1 J A					
2 特別支援資金利子補給事業			130千円（◎130千円）		
（1）畜産経営維持緊急支援資金					
①対象となる貸付 平成21～22年度分（利子補給期限：令和17年度）					
②貸付条件 償還期間15～25年（うち据置期間3～5年）、利子補給率0.06%					
③利子補給見込額 103,697円（県 → 融資機関）					
④利子補給対象金融機関数 5 J A					
（2）畜産経営改善緊急支援資金					
①対象となる貸付 平成27年度分（利子補給期限：令和23年度）					
②貸付条件 償還期間15～25年（うち据置期間3～5年）、利子補給率0.06%					
③利子補給見込額 20,520円（県 → 融資機関）					
④利子補給対象金融機関数 1 J A					
（3）大家畜・養豚特別支援資金					
①貸付実行期間 令和5年度～					
②貸付条件 償還期間15～25年（うち据置期間3～5年）、利子補給率0.06%					
③利子補給見込額 5,000円（県 → 融資機関）					
（令和5年新規貸付分1億円に対する利子補給見込額=100,000千円×0.06%×1/12月=5千円）					
※債務負担行為の設定					
融資元本1億円に対する利子補給金 930千円（令和6～30年度）					
3 県事務費（指導事務費）			34千円（◎34千円）		

事業名	畜産経営改善指導事業			担当	調整畜政経済チーム 生産振興チーム 家畜衛生チーム		
事業年度	平成20～	事業主体	県	当初予算額	15,238千円		
事業目的	畜産農家の経営改善を図るとともに、畜産振興に関する諸指導事業を推進する。			財源	使用料	592千円	
				内訳	財	産	1,464千円
					諸	収入	7,756千円
					一	般	5,426千円
実施内容	<p>1 畜産振興諸指導事業 10,824千円（㊦592千円、㊧1,464千円、㊨7,756千円、㊩1,012千円） 畜産振興に係る諸指導事業等に要する経費 <歳入内訳> (1) 使用料・手数料 ①家畜商免許等手数料5件 ②みつばち転飼許可手数料245か所 ③牛A I 師免許証の交付申請手数料8件 ④家畜市場登録証書換手数料1件、ふ化業者登録手数料1件 (2) 財産収入 ①土地貸付収入（旧固形粗飼料生産利用試験用地、旧ぶな森牧場用地） (3) 諸収入 ①受託事業収入 ア 畜産振興事業補助業務委託 イ 加工原料乳生産者補給金交付業務委託費 ウ 肉用子牛生産者補給金等事務委託費 エ 畜産振興補助事業補助業務委託費 オ 畜環リース事業推進業務委託費 カ 種畜検査受託事業収入 ②雑入 ア 牛A I 師講習会受講料 イ 家畜商講習会受講料 ウ 雇用保険料個人負担分 エ 大潟村土地改良区負担金</p>						
2 自給飼料対策指導事業 451千円（㊰451千円）							
(1) 地域に適した草種・品種の選定のための調査、奨励品種の展示ほ等を使った技術指導等を実施 (2) 飼料安全法に基づいた立入調査・巡回指導及び流通飼料の検査を実施							
3 畜産経営改善促進事業 3,963千円（㊱3,963千円）							
畜産農家の経営体質の強化を図るため、経営感覚に優れた効率的で生産性の高い経営体の育成を推進する。							
(1) 実践支援チームの組織化と畜産経営に対する支援指導の実施							
①実践支援チーム設置委員会の開催							
②個別経営体診断指導や相談窓口の設置 等							
(2) 畜産関係情報のデータベース化と情報提供体制の整備							
①インターネットなどを活用した各種情報体制の整備							
②畜産経営と技術情報等のデータベース化							
(3) 委託先 (公社) 秋田県農業公社							

事業名	比内地鶏生産販売強化事業		担当	調整・畜政・経済チーム	
事業年度	平成20～令和10	事業主体	県		
事業目的	比内地鶏の認証制度を適切に運用するとともに、外食需要の回復に向けた取組を行う。また、長期的な生産体制の維持・拡大と生産コストの低減を図るため、初生ひなの新たな性別判別法の確立や、飼育農家の生産性向上対策に取り組む。併せて、比内地鶏の消費動向等についてマーケティング調査を実施する。		財源	財 産	1,348 千円
			一 般	13,152 千円	
実施内容	1 比内地鶏ブランド強化推進事業		1,230千円 (○1,230千円)		
	比内地鶏ブランドに対する消費者等の信頼に応え、ブランドの優位性を維持するために立入検査やDNA識別検査等を行い、「秋田県比内地鶏ブランド認証制度」を適切に運用する。				
	(1) 認証制度推進事務				
	①申請受付、現地調査、認証票交付等				
	②自己点検としてDNA識別の実施 県内認証施設、東京等の店頭からのサンプリング：60検体				
③比内地鶏ネット動作検証					
(2) ブランド認証推進委員会の運営、協議会の活動推進 総会及び研修会の開催：令和6年3月予定					
2 販促活動強化事業		2,580千円 (○2,580千円)			
アフターコロナに向け、県内事業者が行う積極的な販促活動を支援するとともに、竿灯等のお祭りシーズン等、県外客が多く来県する時期に宿泊施設等における利用促進により需要の創出を図る。					
(1) 首都圏の展示会、商談会への出展支援					
①補助率 1/2以内					
②実施内容 展示会の出展料、PR資材費、マネキン代等への助成					
(2) 県内宿泊施設におけるフェアの開催					
①補助率 定額					
②実施内容 食材購入費等への助成					
3 生産性向上対策事業		770千円 (○770千円)			
飼育農家の収益性向上を図るため、技術実証展示圃を設置するとともに、増体の良い新たな系統による飼育期間短縮調査を実施する。					
(1) 技術実証展示圃					
①設置数 4か所					
②調査項目 育成率、増体重、費用対効果					
(2) 飼育期間短縮調査					
①調査対象 1事業者					
②調査項目 増体重					
4 羽性鑑別基礎種鶏群作出事業		4,595千円 (◎1,348千円、○3,247千円)			
比内地鶏の長期的な生産体制の維持・拡大と生産コストの低減に向けて、初生ひなの性別を羽根の長短により簡易に判別できる素雛を生産するため、種鶏を改良する。					
(1) 基礎種鶏群作出のための遺伝子解析等 種鶏群が有する羽根の発育性に関与する遺伝子解析等					
(2) 基礎種鶏群の飼養管理 飼育に要する飼料費等					
5 比内地鶏等マーケティング調査事業		5,325千円 (○5,325千円)			
比内地鶏をフラッグシップとした本県の食鳥産業の活性化を図るため、実需者及び消費者等のニーズや全国の地鶏・銘柄鶏の流通状況に係るマーケティング調査を実施する。					
(1) 委託先 民間調査会社					
(2) 調査項目 地鶏等の流通状況、実需者及び消費者のニーズ・要望、他産地の事例等					

事業名	秋田県獣医師職員確保対策事業		担当	家畜衛生チーム		
事業年度	平成22～	事業主体	県、中央畜産会、(公社)秋田県農業公社ほか	当初予算額	29,071 千円	
事業目的	本県の獣医師職員が不足しているため、県内の高校生や獣医系大学の学生及び獣医師免許取得者(以下、学生等という。)に対し、本県への就職を条件とした修学資金の給付や業務の意義・魅力を多方面からPRすることにより学生等を本県に誘引し、職員を確保する。			財源	一般	29,071 千円
				内		
				訳		
実施内容	1 地域枠産業動物獣医師養成確保事業			8,301千円(○8,301千円)		
	<p>高校3年生(県が選考し、獣医大学の地域枠推薦入学試験に合格した者)に対し、本県農林水産部への勤務を条件に修学資金を貸与する。</p> <p>(1) 地域枠産業動物獣医師養成確保事業</p> <p>(公社)中央畜産会の「獣医師養成確保修学資金給付事業」を活用し、獣医大学の地域枠推薦入学試験に合格した高校3年生に対し、入学前に大学へ納付する入学金等(上限1,750千円)と入学後の修学資金(月額180千円)を事業実施主体と県が各々1/2を負担し、貸付する。</p> <p>①事業実施主体 (公社)中央畜産会</p> <p>②入学金等(2人)</p> <p>③修学資金(12か月×6人)</p> <p>(R元～3大学入学生各1名、R4大学入学生2名、R5大学入学生1名)</p> <p>(2) 高校生に対する産業動物獣医師のPR等</p> <p>県内の高校生に対し農林水産部の獣医師職員の業務や修学資金制度についてPRし活用を推進する。</p>					
	2 獣医師修学資金給付事業			19,440千円(○19,440千円)		
	<p>獣医学科に在学している学生に対し、本県勤務を条件に修学資金を貸与する。</p> <p>(1) 産業動物獣医師修学資金の貸与</p> <p>(公社)秋田県農業公社の「産業動物獣医師修学資金給付事業」を活用し、月額180千円を上限に、事業実施主体と県が各々1/2を負担し貸与する。(農林水産部への勤務を希望する者を対象とする。)</p> <p>①事業実施主体 (公社)秋田県農業公社</p> <p>②修学資金(12か月×4人)</p> <p>(2) 獣医学生修学資金の貸与</p> <p>「秋田県獣医学生修学資金貸与条例」により、本県への就職を条件として、月額180千円を上限に修学資金を貸与する。</p> <p>①事業実施主体 県</p> <p>②修学資金(12か月×7人)</p>					
3 受験者確保対策事業			1,201千円(○1,201千円)			
<p>獣医大学の学生等に対し獣医師職員の業務の意義や魅力を多方面からPRし、本県への就職を誘引する。</p> <p>(1) インターンシップ参加支援(職場実習受入)</p> <p>(2) 獣医系大学への事業PR</p> <p>(3) 採用試験の実施</p> <p>(4) 高校生向け体験研修(1回)</p> <p>(5) 小・中学生向け出前講座</p> <p>(6) 獣医学生向けPR動画の情報発信</p>						
4 産業動物臨床獣医師連携体制構築モデル事業			129千円(○129千円)			
<p>獣医師不足を補うため、家保職員と産業動物臨床獣医師が実施する牛大規模農場の繁殖検診や公共牧場等での衛生検査において、効率的な検診や治療ができる体制を構築する。</p> <p>(1) 牛大規模農場繁殖検診(検診時使用消耗品)</p> <p>(2) 公共牧場等の衛生検査(産業動物獣医師への手当)</p>						

事業名	秋田牛ブランド推進事業		担 当	調整・畜政・経済チーム
事業年度	令和4～	事業主体	県、ブランド推進協議会	
			当初予算額	10,271 千円
事業目的	オール秋田の県産牛ブランド「秋田牛」の有利販売と全国メジャー化を図るため、県内外における販売力強化に取り組むとともに、タイ及び台湾向け輸出の促進を図る。		財 源	一 般
			内	
			訳	
実施内容	1 秋田牛ブランド推進事業		7,624千円 (⊖7,624千円)	
	県内外において秋田牛の販売力強化を図るとともに、品質向上によるブランド力強化に取り組む。			
	(1) 首都圏等県外における販売力強化			
	大手食肉事業者等を対象としたトップセールス、量販店におけるキャンペーン、量販店バイヤー・飲食店関係者等を対象とした産地招聘等の実施			
	(2) 県内事業者の販売力強化			
	県内事業者等による販路拡大、新商品開発及びPR、学校給食への牛肉提供に係る取組等について支援			
	①事業主体 民間事業者、秋田牛ブランド推進協議会			
	②補助率 1/2以内			
	(3) 秋田牛の品質向上によるブランド力の強化			
	①秋田牛枝肉共励会の開催(年2回:夏季、冬季)			
②肉用牛情報(秋田牛便り)の発信等				
2 秋田牛輸出促進事業		2,647千円 (⊖2,647千円)		
タイ及び台湾における輸出量の拡大と認知度向上に取り組む。				
(1) タイ向け輸出の拡大対策				
①現地レストラン、観光関係者等を招聘した試食会の開催(1回)				
②メディアを活用したプロモーションの実施(1回)				
(2) 台湾向け輸出量の拡大・定着				
①現地観光イベント、県主催催事等におけるPR(2回)				
〔上記のほか、R5.2月補正で措置〕				
1 秋田牛輸出促進コンソーシアム推進対策事業		16,471千円 (⊖16,471千円)		
更なる輸出拡大による生産者の収益性やブランドに対する訴求力の向上を図るため、秋田牛の台湾輸出拡大のためのプロモーション活動等への取組を支援				
(1) 事業主体 秋田牛輸出促進コンソーシアム				
(2) 補助率 定額				

事業名	肉用牛肥育経営維持拡大対策事業		担 当	生産振興チーム	
事業年度	平成26～令和7	事業主体	農業協同組合等	当初予算額	8,165 千円
事業目的	子牛価格や配合飼料価格の高騰による肥育農家の負担軽減を図るため、JA等が行う肥育牛預託の無利子化等への取組に対し支援する。		財 源 内 訳	一 般	8,165 千円
実施内容	1 肉用牛肥育経営維持拡大対策事業			8,165千円 (○8,165千円)	
	(1) 事業主体 9農協等 (JAかづの、JA秋田なまはげ、JA秋田しんせい、JA秋田おぼこ、JA秋田ふるさと、JAこまち、JAうご、県畜協、県家畜商協)				
	(2) 利子補給率 1/2以内				
	(3) 補給対象及び補給額				
	①令和5年度補助金交付・・・預託牛の販売等により預託代金の精算で確定した利子補給額				
	ア 令和3年度預託開始、令和5年度精算分 (利率1.7%を補助上限とする) 480頭×810千円×1.7%×20/12月×1/2 = 5,508千円				
	イ 令和4年度預託開始、令和5年度精算分 (利率1.7%を補助上限とする) 250頭×750千円×1.7%×20/12月×1/2 = 2,657千円				
	<p>【債務負担行為の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度預託開始、令和6年度精算分 (利率1.7%を補助上限とする) 270頭×900千円×1.7%×20/12月×1/2 = 3,443千円 (令和6年度事業費) ・令和5年度預託開始、令和7年度精算分 (利率1.7%を補助上限とする) 530頭×960千円×1.7%×20/12月×1/2 = 7,208千円 (令和7年度事業費) <p style="text-align: center;">計 10,651千円</p>				
	②発動要件				
	四半期ごとに発動を判断。当該四半期の直近12か月の平均子牛価格が発動基準を上回った場合に発動。 [発動基準：520千円] 価格高騰前(平成25年度)の子牛の平均価格				

事業名	あきたの酪農推進対策事業		担 当	生産振興チーム	
事業年度	平成30～	事業主体	県、JA全農あきた、日本ホルスタイン登録協会秋田県支部、秋田県酪農連盟	当初予算額 2,220 千円	
事業目的	酪農経営の体質強化と生乳生産の維持拡大のため、牛群改良を推進するとともに、高能力な後継牛を効率的に確保する取組を支援する。 また、酪農家の労働負担軽減を図るため、酪農ヘルパー利用組合の組織再編および利用拡大を推進する。		財	一 般	2,220 千円
			源		
			内		
			訳		
実施内容	1 酪農生産性向上対策事業		1,841千円 (⊖1,841千円)		
	生乳の生産量や乳質、飼養管理技術の向上を図るため、牛群検定の取組を支援するとともに、牛群検定情報の分析やデータの活用を促進し、牛群の改良を推進する。				
	(1) 牛群検定推進事業 牛群検定の取組に対する支援 ①事業主体 全国農業協同組合連合会秋田県本部 (2) 酪農生産性向上支援事業業務委託 牛群検定データの分析及び分析情報を活用した指導等 ①委 託 先 日本ホルスタイン登録協会秋田県支部				
実施内容	2 酪農経営確立支援事業		300千円 (⊖300千円)		
	酪農経営の体質強化と生乳生産の拡大を図るため、高能力後継牛確保に向けた取組を支援するとともに、遺伝的能力評価の推進により牛群の改良を加速化する。				
	(1) 遺伝的能力向上推進対策 ①事業主体 日本ホルスタイン登録協会秋田県支部 ②助成対象 ゲノミック評価に係るSNP検査の実施に要する経費 (100頭分) ③補 助 率 1 / 3 以内				
実施内容	3 酪農ヘルパー利用推進事業		79千円 (⊖79千円)		
	酪農ヘルパー利用組合の組織再編と利用拡大に向けた検討会を開催する。				

事業名	畜産競争力強化対策事業			担当	調整・畜政・経済チーム	
事業年度	平成28～令和30	事業主体	県、金融機関	当初予算額	385 千円	
事業目的	国の畜産競争力強化対策に基づいて、畜産クラスター協議会が策定した「畜産クラスター計画」に位置づけられた中心的な経営体の収益性の向上や畜産環境問題への対応に必要な施設整備を支援する。			財源	一般	385 千円
				内		
				訳		
実施内容	1 畜産経営体質強化支援資金利子補給事業			185千円 (⊖185千円)		
	<p>新たな投資を促進するための長期低利資金「畜産経営体質強化支援資金」の融通に必要な地元負担の利子補給について、県・市町村・融資機関の連携により対応する。</p> <p>(1) 令和5年度予算の内容</p> <p>①平成28年度融資分</p> <p>ア 融資残高 45,277千円 (令和4年度末時点)</p> <p>イ 利子補給額 37千円 (45,277千円×県利子補給額0.08%=36,222円)</p> <p>②平成30年度融資分</p> <p>ア 融資残高 176,652千円 (令和4年度末時点)</p> <p>イ 利子補給額 142千円 (176,652千円×県利子補給額0.08%=141,322円)</p> <p>③令和5年度融資見込分</p> <p>ア 融資要望額 100,000千円 (令和5年11月末貸付を想定)</p> <p>イ 利子補給額 7千円 (100,000千円×県利子補給額0.08%×1/12カ月=6,667円)</p> <p>(2) 債務負担行為の設定</p> <p>融資元本1億円に対する利子補給金 1,240千円 (令和6～30年度)</p>					
	2 事業計画策定支援事業			200千円 (⊖200千円)		
	<p>大規模畜産団地を整備する経営体への的確なアドバイスを行うため、現地支援会議を開催するとともに、円滑な施設整備を支援する。</p> <p>(1) 実施内容</p> <p>①現地支援会議の開催 (構成：県、市町村、JA等)</p> <p>②経営分析等の実施、経営指導</p> <p>③施設整備等の事業実施に係る支援等</p> <p>(2) 対象地区 北秋田地区、仙北地区、平鹿地区</p> <p>(3) 実施主体 県</p>					

事業名	肉用牛生産性向上対策事業		担当	調整畜政経済チーム 家畜衛生チーム		
事業年度	令和3～5	事業主体	J A秋田おばこ畜産青年部会、県等		当初予算額	2,478 千円
事業目的	本県肉用牛の生産性向上を図るため、肥育農家の求める市場出荷子牛の斉一化を推進するとともに、牛伝染性リンパ腫の感染拡大を防止する対策を実施する。			財源内訳	国庫	258 千円
					一般	2,220 千円
実施内容	1 市場上場子牛の斉一性向上対策事業			1,110千円 (○1,110千円)		
	近年、家畜市場に上場される子牛に過肥などバラツキが多くなっている中、肥育農家が求める斉一性の高い子牛を増やし生産性の向上を図るため、家畜市場に上場する子牛の適正体重出荷に向けた取組に対し支援する。 (1) 助成対象 検討会、講習会等の開催、畜産試験場と連携した強化哺育による子牛の育成 (2) 実施主体 J A秋田おばこ畜産青年部会 (3) 補助率 1 / 2 以内					
実施内容	2 牛伝染性リンパ腫感染防止対策事業			1,368千円 (◎258千円、○1,110千円)		
	全国的に増加傾向にある牛伝染性リンパ腫（旧：牛白血病、届出伝染病）の感染拡大を防止するため、本病への意識の高い農家をモデル農家に位置づけ、農場の清浄化手法の普及を図る。 (1) 浸潤状況把握のための検査の実施 ①抗体検査（12農場、70頭/農場） ②高リスク牛の特定 (2) 感染防止対策 ①牛舎内への防虫ネットの設置 ②初乳加温装置等の導入					

事業名	夢ある畜産経営ステップアップ支援事業		担当	生産振興チーム
事業年度	令和4～7	事業主体	認定農業者、認定就農者等	当初予算額 124,180 千円
事業目的	複合型生産構造の転換を加速するとともに、中山間地域等条件不利地での畜産を核とした地域活性化を図るため、意欲ある農業者のステップアップに必要な取組について、重点的に支援を行う。		財源	一般 124,180 千円
			内	
			訳	
実施内容	<p>1 夢ある畜産経営ステップアップ支援事業 124,180千円 (○124,180千円)</p> <p>収益性の高い畜産経営体を育成するため、幅広いメニューで総合的な支援を行う。</p> <p>(1) 実施内容</p> <p>①秋田牛の増頭</p> <p>ア 施設整備等</p> <p>イ 繁殖素牛導入、肥育素牛導入</p> <p>②スマート農業の推進</p> <p>ア 機械導入</p> <p>③乳用牛の泌乳能力向上</p> <p>ア 初妊牛導入</p> <p>④比内地鶏の生産拡大</p> <p>ア 飼養管理施設整備</p> <p>イ 機械・資材導入</p> <p>⑤自給飼料の生産拡大と耕畜連携の推進</p> <p>ア 自給飼料生産拡大</p> <p>(ア) 機械導入</p> <p>(イ) 草地整備改良</p> <p>イ 耕畜連携推進</p> <p>(ア) 堆肥舎整備</p> <p>(イ) 堆肥散布機械導入</p> <p>⑥新規就農者の就農計画実現</p> <p>ア 飼養管理施設整備</p> <p>イ 機械・資材導入</p> <p>ウ 素畜導入</p> <p>エ 自給飼料生産拡大</p> <p>オ 耕畜連携推進</p> <p>(2) 実施主体</p> <p>①～④、⑥ 認定農業者、認定就農者又は畜産クラスター計画の中心的経営体</p> <p>⑤ア 機械共同利用集団</p> <p>⑤イ 耕畜連携集団</p> <p>(3) 補助率</p> <p>①ア、②、④、⑤ 1／3以内</p> <p>①イ、③ 定額</p> <p>⑥ 農家出身者は1／3以内、非農家出身者は1／2以内</p>			

事業名	次代につなぐ秋田牛資質向上対策事業		担当	生産振興チーム 調整・畜政・経済チーム	
事業年度	令和5～9	事業主体	県	当初予算額 82,387千円	
事業目的	本県肉用牛の生産拡大とブランド力強化に向け、高能力な種雄牛の造成や、繁殖雌牛の産肉能力、脂肪の質を重視した遺伝的改良と飼養管理技術の向上に取り組み、令和9年の北海道全共での全国評価の向上を図る。			財源	財産 12,980千円
					諸収入 650千円
				内訳	一般 68,757千円
				訳	
実施内容	1 種雄牛造成事業			16,224千円（○16,224千円）	
	(1) 脂肪の質を重視した種雄牛の造成				
	①産肉能力検定				
	ア 種雄牛候補 3頭				
	イ 現場後代検定 後代検定2セット、調整交配2セット				
	②新たな指標による基礎牛の選定及び候補種雄牛の選抜				
	ア 育種価解析				
	イ オレイン酸及び粗脂肪等測定				
	(2) 新技術による効率的な種雄牛造成				
	①ゲノム育種価の活用 遺伝子解析 240頭				
②種雄牛候補の効率的生産 性判別精液 200本					
2 高能力繁殖雌牛増産対策事業			46,960千円（◎12,980千円、◎650千円、○33,330千円）		
(1) 高能力雌牛の保留支援					
①市場調査等による高能力雌牛の早期発掘					
②高能力雌牛の確実な県内保留奨励 対象60頭、保留推奨金100千円/頭					
(2) 「ふくはな5」系受精卵の安定供給と繁殖技術向上支援					
①受精卵移植の推進 受精卵 180個					
②繁殖技術の向上支援 県有牛飼養管理委託 40頭					
3 全共出品技術強化事業			15,237千円（○15,237千円）		
(1) 種牛の部出品技術強化の取組					
①調教技術講習会の開催					
②飼養管理技術研修会の開催					
③全共用若雄の作出に係る受精卵採取等 2頭					
(2) 肉牛の部出品技術強化の取組					
飼料や飼養管理の異なる条件での短期肥育試験 肥育牛飼養管理委託 8頭					
4 若い担い手裾野拡大対策事業			3,966千円（○3,966千円）		
(1) 若い担い手への重点指導による早期経営安定 繁殖及び衛生管理技術向上の支援					
(2) 「あきた牛飼い塾」開催等による若い担い手及び畜産女性のスキルアップ 若い担い手等の経営管理指導					
(3) 全共特別区（高校生）への出品に向けた取組の推進 練習牛の導入 2頭					

事業名	耕畜連携体制確立対策事業【地域活性化対策基金】		担 当	生産振興チーム	
事業年度	令和5～	事業主体	当初予算額	61,043 千円	
事業目的	原油・原材料の価格上昇やウクライナ情勢等の影響による肥料や飼料の価格高騰に対応するため、耕畜連携による循環型農業を推進し、農作物の生産性向上や自給飼料の増産を支援する。		財	繰入金	61,043 千円
			源		
			内		
			訳		
実施内容	1 堆肥利用促進体制整備事業		28,984千円 (ⓐ28,984千円)		
	堆肥の利用促進による農作物の生産性向上を図るため、堆肥の高品質化や効率的な散布に係る取組に対し支援する。				
	(1) 実施内容				
	①良質堆肥の生産 堆肥成分分析、堆肥施用実証、堆肥利活用研修会等				
②堆肥散布作業組織の育成 マニュアルプレッダ、キャリアカー等の機械導入、運賃助成等					
(2) 事業主体 耕種農家と畜産農家の集団、法人、県等					
(3) 補助率					
①定額					
②1/2以内					
2 耕畜連携による稲わら収集・利用モデル実証事業		7,500千円 (ⓐ7,500千円)			
畜産経営における稲わら確保と水稲経営における所得確保を図るため、地域の実情に即した稲わらの収集・利用モデルの実証を行う。					
(1) 事業内容 稲わら収集に要する時間や経費等を調査					
(2) 事業主体 耕種農家と畜産農家の集団等					
(3) 補助率 定額 新規の場合 (15,000円/10a)、継続の場合 (7,500円/10a)					
3 新たな県産飼料資源確保実証事業		24,559千円 (ⓐ24,559千円)			
飼料価格の高騰を踏まえ、水田を活用した自給可能な新たな濃厚飼料の生産や利用に係る実証を行う。					
(1) 事業内容 イアコーンサイレージ及び大豆WCSの栽培試験、肉用牛等への給与試験					
(2) 事業主体 県 (畜産試験場)					

事業名	草地畜産基盤整備事業			担当	生産振興チーム	
事業年度	平成22～	事業主体	県	当初予算額	31,460 千円	
事業目的	中山間地域等において、林地、野草地及び草地等の農用地を畜産的土地利用体系に再編整備し、草地造成改良や牛舎等の整備を行うことにより飼料自給率の向上と経営の拡大を図る。			財源内訳	国庫	28,600 千円
					一般	2,860 千円
実施内容	<p>1 草地整備型公共牧場整備事業 31,460千円 (◎28,600千円、⊖2,860千円)</p> <p>地域資源である草地基盤を整備し、草地整備改良やパドック等の整備を行うことにより、飼料自給率の向上と肉用牛・乳用牛の生産拡大による地域活性化を図る。</p> <p>(1) 実施地区 三種地区(三種町)、仙北地区(仙北市)</p> <p>(2) 実施期間</p> <p>①三種地区 令和2～5年度</p> <p>②仙北地区 令和3～6年度</p> <p>(3) 事業内容</p> <p>①三種地区</p> <p>ア 草地整備改良、隔障物整備、測量設計</p> <p>イ 事業主体事務費(公社)秋田県農業公社)</p> <p>ウ 県事務費</p> <p>②仙北地区</p> <p>ア 草地整備改良、隔障物整備、測量設計</p> <p>イ 事業主体事務費(公社)秋田県農業公社)</p> <p>ウ 県事務費</p> <p>(4) 補助率</p> <p>①事業費 国50%以内</p> <p>②事業主体事務費 県10/10以内</p>					

事業名	家畜保健衛生・安全対策推進事業			担当	家畜衛生チーム	
事業年度	昭和26～	事業主体	県、(公社)秋田県農業公社	当初予算額	66,630 千円	
事業目的	家畜伝染性疾病的の発生予防・まん延防止対策、畜産環境保全対策及び獣医事・薬事監視指導を行うことにより、本県畜産の生産性の向上と安全・安心な畜産物の生産を図る。			財源内訳	使用料	4,129 千円
					国庫	19,002 千円
					財産	115 千円
					諸収入	52 千円
					一般	43,332 千円
実施内容	1 家畜伝染病予防事業 22,939千円 (㊦3,786千円、㊦15,788千円、㊦3,365千円)					
	(1) 家畜伝染病予防法に基づく検査等を行い、家畜伝染病の発生予防及びまん延防止を図る。					
	①検査対象家畜 牛、馬、羊、豚、鶏、みつばち					
	②検査対象疾病 ヨーネ病、BSE、牛伝染性リンパ腫、豚熱、アフリカ豚熱、PRRS、オーエスキー病、鳥インフルエンザ、ニューカッスル病、ふそ病等					
	(2) 生産者からの依頼に基づく検査を行い、伝染性疾病的の発生予防と生産性向上を図る。 放牧衛生検査、ふそ病検査、病理解剖 等					
	(3) 自衛防疫強化対策事業 家畜伝染性疾病的の発生を未然に防止するため、組織的に行う予防接種に要する経費に対し助成する。					
	①交付先 (公社)秋田県農業公社					
	②事業内容					
	ア 牛伝染性疾病的発生予防 牛伝染性鼻気管炎発生予防(4,270頭)、アカバネ病発生予防(5,500頭)					
	イ 豚伝染性疾病的発生予防 豚丹毒発生予防(47,000頭)					
ウ 鶏伝染性疾病的発生予防 ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎発生予防(1,500千羽)						
2 家畜保健衛生所管理運営費 40,269千円 (㊦1,916千円、㊦115千円、㊦52千円、㊦38,186千円)						
(1) 家畜保健衛生所の管理運営に要する経費						
(2) 機器整備 マイクロプレートリーダー1台、マルチチャンネルピペット2本						
3 家畜衛生技術総合推進事業 3,422千円 (㊦343千円、㊦1,298千円、㊦1,781千円)						
(1) BSE検査体制の強化						
(2) 飼養衛生管理基準等の推進、普及、啓発						
(3) 家畜衛生関連情報の収集						
(4) 精度管理体制の確立						
(5) 家畜伝染病まん延防止のための会議参加等						
(6) 薬剤耐性菌の発現状況調査						
(7) 獣医事、薬事監視指導						
(8) 畜産環境保全巡回指導						

事業名	CSF等緊急防疫対策事業			担当	家畜衛生チーム	
事業年度	令和2～	事業主体	県	当初予算額	705,455千円	
事業目的	豚熱やアフリカ豚熱等の発生予防及びまん延防止に資するため、家畜保健衛生所等における検査や豚熱ワクチン接種を円滑に推進するとともに、万一の発生に備えた初動防疫体制を整備する。			財源	使用料	51,674千円
					国庫	331,403千円
					一般	322,378千円
実施内容	1 検査体制整備事業			5,909千円（◎1,490千円、○4,419千円）		
	豚熱等に関する特定家畜伝染病防疫指針に基づき、野生イノシシの豚熱等の検査を行うとともに、野生イノシシ用経口ワクチンを散布するほか、家畜保健衛生所における緊急防疫体制を維持する。					
	(1) 野生イノシシの豚熱等検査			180頭		
	(2) 野生イノシシ用経口ワクチンの散布			県内全域		
	(3) 家畜保健衛生所の緊急防疫体制の維持			公用車トラック1台、光回線設置工事1家保		
	2 まん延防止対策事業			9,929千円（◎4,261千円、○5,668千円）		
	(1) 空港におけるウイルス侵入防止対策					
	秋田空港及び大館能代空港における乗客の靴底消毒					
	(2) 初動防疫備蓄資材の確保					
	炭酸ガス容器の保管、点検					
	初動防疫資材の追加備蓄 電殺機3台、鎮静剤、注射針、密閉容器等					
	3 予防ワクチン接種緊急対策事業			103,960千円（◎51,674千円、◎46,798千円、○5,488千円）		
	養豚場における豚熱発生予防のため、ワクチンを接種するとともに、免疫付与状況等の確認検査を実施する。					
	ワクチン接種			737千頭		
	免疫付与状況等確認検査			3,300頭		
	4 特定家畜伝染病防疫対策事業			585,657千円（◎278,854千円、○306,803千円）		
豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病の発生に備え、防疫措置に係る経費を確保する。						
(1) 発生農場における防疫措置に係る資材、消毒及び埋却に係る経費						
(2) 制限区域内の消毒ポイント設置、運営に係る経費						
(3) 県内畜産農家の緊急消毒のための消毒薬の配布						

